

スクエア

女性のサッカースクールを主催

佐伯 仁史さん (47)

フォーラム
とやま

ス。ポーツで 交流の輪

スポーツは人を笑顔にできる。今年14日から女性を対象にした「なでしこサッカースクール」を始めた。現在、6歳から29歳までの5人が参加している。シートを決めて遊ぶ参加者の姿を見て、その思いを強くした。

スポーツを通じて世の中

の課題を解決したいとNPO法人「富山スポーツコミュニティ」を立ち上げたのが2005年。現在は、県内で高校教諭を務める傍ら、「二足のわらじ」で活動を続ける。

もともと、体を動かすのは大好きだった。小さい頃からサッカーや野球、スキ

ーをして育った。小学4年生の時に富山市の少年サッカー団に入り、大学までボールを追い続けた。周囲への感謝を学び、大切な仲間たちとも出会った。

そんなスポーツの魅力をもっと多くの人に知ってもらおうと、プロ野球BCリーグの富山サンダーバーズ戦など

で、イヤホン付きレシーバーを使い、ルールやチームの戦力分析の無料解説を提供。寄付金を募り、福祉施設の子供たちをスポーツ観戦に招待している。

一方、女性を対象にした活動も広げている。

昨年11月からは、女性向けのサッカーイベントを始めた。女性たちがスポーツで笑顔らしてできる場を作りたいとの思いが発端だった。

イベントでは、様々な年齢の女性たちがボールを笑顔で追いかける。「こうやって楽しめる場があったらいい」と参加者にも好評だ。5回のイベントを経て、サッカースクールの開講に踏み切った。今年28日には、元サッカー日本女子代表の鈴木智子さんを招いて特別スクールを開く予定だ。

「スポーツを通じて人と人をつなげていきたい。地域作りや街づくりにもなればいい」

(吉川 穂)

